

# ROSE

文化情報誌  
ロゼ

2015 SPRING Vol.91

ROSE THEATRE  
ART INFORMATION  
OF FUJICITY  
CULTURE MAGAZINE  
ROSE



カルタハカタル

カルタハカタル

INTERVIEW  
1966 カルタハカタル

音楽 歌舞伎の魅力  
—水谷薫—

EVENT CALENDAR 2015

音楽 ロゼ・クラシックカレッジ

Report おでかけクラシック

Pick up Artist

Flash Back

INFORMATION FROM ROSE THEATRE





Haruka  
Hayashi

Yuki

Yui

Yuka



6月30日、ビートルズが日本初公演したこの日に、「1966カルテット ザ・ビートルズ クラシックス」を開催します。  
左からチェロの林はるかさん、ヴァイオリンの花井悠希さん、松浦梨沙さん、ピアノの江頭美保さんの4人に話を伺いました。

カルテット

# 1966 QUARTET

クラシックのテクニックをベースに洋楽アーティストのカバーをする女性カルテット。日本中が熱狂したビートルズ来日の年「1966」をカルテット名に冠し、2010年11月、「ノルウェーの森 ~ザ・ビートルズ・クラシックス」で日本コロムビアよりCDデビュー。王子ホールでデビュー・リサイタルを開催。クイーンおよび、マイケル・ジャクソンのカバーアルバム(2011年および2012年)では、クラシックの上品なイメージを破る、ロック・スピリッツ溢れるパフォーマンスが高く評価された。ビートルズへと原点回帰した4作目のアルバム「HELP!」(2013年)では、生気溢れる鮮烈なプレイで、ユニットとしての更なる進化を聴かせた。全国各地でのコンサート活動を精力的に繰り返す一方で、5作目のアルバムとなる「アビー・ロード・ソナタ」を、英国ロンドンのアビー・ロード・スタジオで録音し、2014年6月にリリース。

<http://columbia.jp/1966quartet/>

1966  
Quartet

## Contents

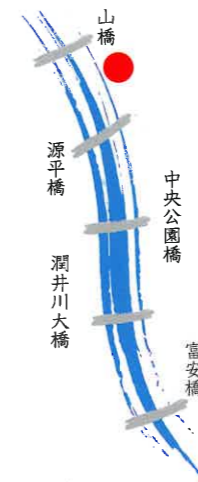
- **カルタハカタ**  
潤井川かるたの小径から ..... 1
- INTERVIEW  
1966カルテット ..... 2
- **特集** 歌舞伎の魅力  
水落 藻 ..... 5
- EVENT CALENDAR 2015  
平成27年度自主事業  
情報先取り! 魅力あるイベント満載! ..... 7
- **特集** ロゼクラシックカフェ  
楽師の大作曲家たち 第8回  
瀬久俊彦 ..... 9
- Report  
おでかけクラシック ..... 11
- Pick up Artist  
石倉妙子 ..... 12
- Flash Back  
■ロゼシアター主催事業  
2014年11月・12月、2015年1月 ..... 13
- INFORMATION FROM ROSÉ THEATRE  
◆お知らせ  
◆チケット購入方法  
◆レストラン「ロゼテラス」  
◆プレゼントクイズ  
◆休館日のお知らせ  
◆鑑賞後記 ..... 14



紀元前三百年頃の中国戦国時代、秦の宰相である孟嘗君は、謀反の容疑をかけられ国外へ逃亡をはかります。国境の関所、函谷関にたどり着いたのは真夜中。函谷関は夜間、門が閉ざされ、翌朝の一番鶏の声で開門するきまりです。立ち往生する二行に追手が迫るその時、供のひとり鶏の鳴き真似をはじめました。するとそれにつられ本物の鶏も鳴きだし、果たして函谷関の門は開かれました。孟嘗君らは難を逃れることができたのです。

本作は、廷臣藤原行成への贈答歌であり、右記の中国の故事を引用しています。

清少納言は、行成と親交厚い間柄。その日も自室に招き物語などに興じていました。やがて夜も更け行成は辞去することに。翌朝「鶏鳴にせきたてられ帰宅したが名残惜しい」と手紙が届きます。これに清少納言は件の故事を引き「深夜の鶏鳴とは函谷関のことですか?」とはぐらかすとのおも「私たちを隔てるのは逢坂の関でしょう」と行成。逢坂の関は男女が逢うことを示す枕詞。そしてこれへの返歌が本作です。二人は恋仲ではなかったとされますが、あえてそれをよそおうのは行成のユーモアなのか、それとも気をひこうとしているのか。いずれにせよこの応酬は、清少納言の貫録勝ちといえるでしょう。



ロゼシアターの東を流れる潤井川。山橋から富安橋までの沿堤は、「潤井川かるたの小径」と名づけられ、百人一首を彫り込んだ石版百枚が、道行く人々を楽しませています。



**清少納言**  
(ふじわらのゆきなり 生没年不詳)  
平安時代の女流作家、歌人。  
清原元輔の娘。随筆「枕草子」は有名。

**藤原行成**  
(ふじわらのゆきなり 972年~1028年)  
平安時代の廷臣。  
書道に長じ、世尊時流の祖。

かるたは語る  
カルタハ

潤井川かるたの小径から

夜とこめて鳥のそら音は はかるども  
よに逢坂の関はゆるさじ 清少納言

(訳)夜の明けないうちに、鶏の鳴き真似をして、函谷関はだまされたとしても逢坂の関はそうはいきません。(私は決して会いません)



「1966カルテット」の名前の由来は

花井(匠) ビートルズが来日した1966年から1966(いちきゅうろくろく)と取らせて頂きました。

「1966カルテット」はどういう思いで結成しましたか

林(匠) エグゼクティブプロデューサー高嶋弘之さんが、ビートルズでクラシックをやりたいという思いから始まりました。ジョン・レノンとポール・マッカートニーのツインヴォーカルはヴァイオリンの二人に置き換え、チェロとピアノというメンバーで結成されました。

松浦(匠) これからビートルズもクラシック化していくのではないかと思いい、新しい分野にいくきっかけになればと思います。

音楽を始めたきっかけを教えてください

江頭(匠) 母がピアノの教師だったので、物心ついた時には始めていました。その後、紆余曲折しながら何とか続けています。

林 親の影響もあって、四歳の時にピアノを始めました。チェロを始めたのは十二歳の時にテレビで綺麗な女の人がチェロを弾いているのを見て、それが凄くカッコよくて、一年位かけて親を説得して始めました。

松浦 私も母の影響で、小さい頃から姉と一緒にピアノを始めました。母が将来的に二人ともピアニストになって、そこで技術の差などで確執が生まれたら困るということで、ヴァイオリンを勧められ始める事になりました。

花井 母の学生時代の友人でヴァイオリンが上手な方がいて、そのヴァイオリンの音色にすごく魅かれたのがきっかけで、三歳から始めました。

ビートルズの曲で何が一番お気に入りですか

松浦 カバーはしていないのですが、個人的に「マイ・サマ・イン・ア」が好きです。

花井 「ハイジュード」です。昨年、アビーロードスタジオにレコーディングに行った時に、リパールのキャバンクラフでライブをやったんですよ。その時「ハイジュード」を弾いたら、お客さん達が合唱になり、その一体感を初めて味わいました。

林 私は「レット・イット・ビー」が好きで、冒頭のピアノの響きに癒され、歌詞で元気づけられます。

江頭 子供の頃、テレビで何かで見た曲ですが、好きな曲があったんですが、名前がわからなかつたんですよ。大人になってそれがビートルズの「ザ・ロンダンド・ウィンディング・ロード」だということ分かり、それは弾いてもやっぱり好きですね。

ビートルズの曲をクラシックのテクニクで弾く事は大変でしたか

林 歌詞のあるメロディーを楽器で再現する事が難しかったです。歌詞の凹凸を表現するところを、歌詞と同じ音程の音を出しても、ただ音を並べていくだけになってしまつたので、まず息づかいなどをCDで聴き込みました。再現することが難しく、そこで壁に当たりました。

江頭 チェロとピアノはドラムとかベースラインを受け持つことが多く多いのですが、クラシックで余り意識していなかったグルーブ感とか、汚い音を思いつき出すとかクラシックで禁止されているようなところを、一歩踏み越える事が難しかったです。

花井 歌と違った音の表現ですね。例えば「ガール」という曲で息を吸う音とか、効果音みたいなものを四人でどう表現するか考えた時に、そういう音も全部楽器で表現したいと思いい、自分達で色々研究して新しい奏法をみつけたりしています。

今までの印象に残っている公演はありますか

松浦 普通のクラシックコンサートとしてやっていますが、前橋の公演の時は館長さんがこだわりを持っていて、クラシックホールなのに、スピーカーやミラーボールが出たり、音に合わせて照明をチカチカさせたり、ライブハウスより凄いなと思った公演です。

林 リパールのキャバンクラフも外せないですね。普段からライブを聴きにたくさんの方が集まっています。その中でビートルズの曲を弾いたんです。ノリが日本とは全然違い、ハイジュードを弾いた時には全員が「ビュービュー」と指笛を鳴らし、その後もいろんな曲を歌ってくれました。イギリスではビートルズが国民的英雄なんだと改めて感じ印象に残っています。

今ハマっているものはありますか

花井 私は御朱印集めですね。新年も結構集めましたよ。元旦だと羊を押しつけてくれるんですよ。松浦 ハマっているというより私の癖ですけど物を捨てる事ですね。毎日断捨離していて、部屋をウロウロして捨てる物がないかと探しています。

林 ハマっているというよりは、鉄道模型が面白そうだなと思っています。以前、実家に帰った時、祖母が取って置いた物の中に、祖父の模型がたくさん出てきたんです。DNA的な繋がりもあって、もう少し家にスペースがあれば走らせてみたいですね。

江頭 私は時期ハマっていたジグソーパズルに再度ハマっています。クリムトの「接吻」の絵が凄く好きで部屋に飾りたくて、最近この絵のパズルを始めました。そのピースが世界最小サイズで、完成させる事に力を注いでいます。

公演の見どころ、聴きどころを教えてください

松浦 クラシックですが、プロクラムはビートルズなので気軽に聴きにきてほしいです。CDでは伝わりにくいステージ上でのメンバー同士



### 1966カルテット ザ・ビートルズ クラシックス 1966 QUARTET THE BEATLES CLASSICS

公演情報

2015.6.30(火) 開場18:30 開演19:00  
入場料一般3,500円 学生1,000円 (全席指定・税込み)  
富士市文化会館 ロゼシアター 小ホール

チケット発売中  
◇ロゼシアター ホームページ(<http://rose-theatre.jp>)  
◇ロゼシアター チケット窓口(営業時間9:00~20:00)  
◇プレイガイド ローソンチケット  
0570-084-004(コード/45685)

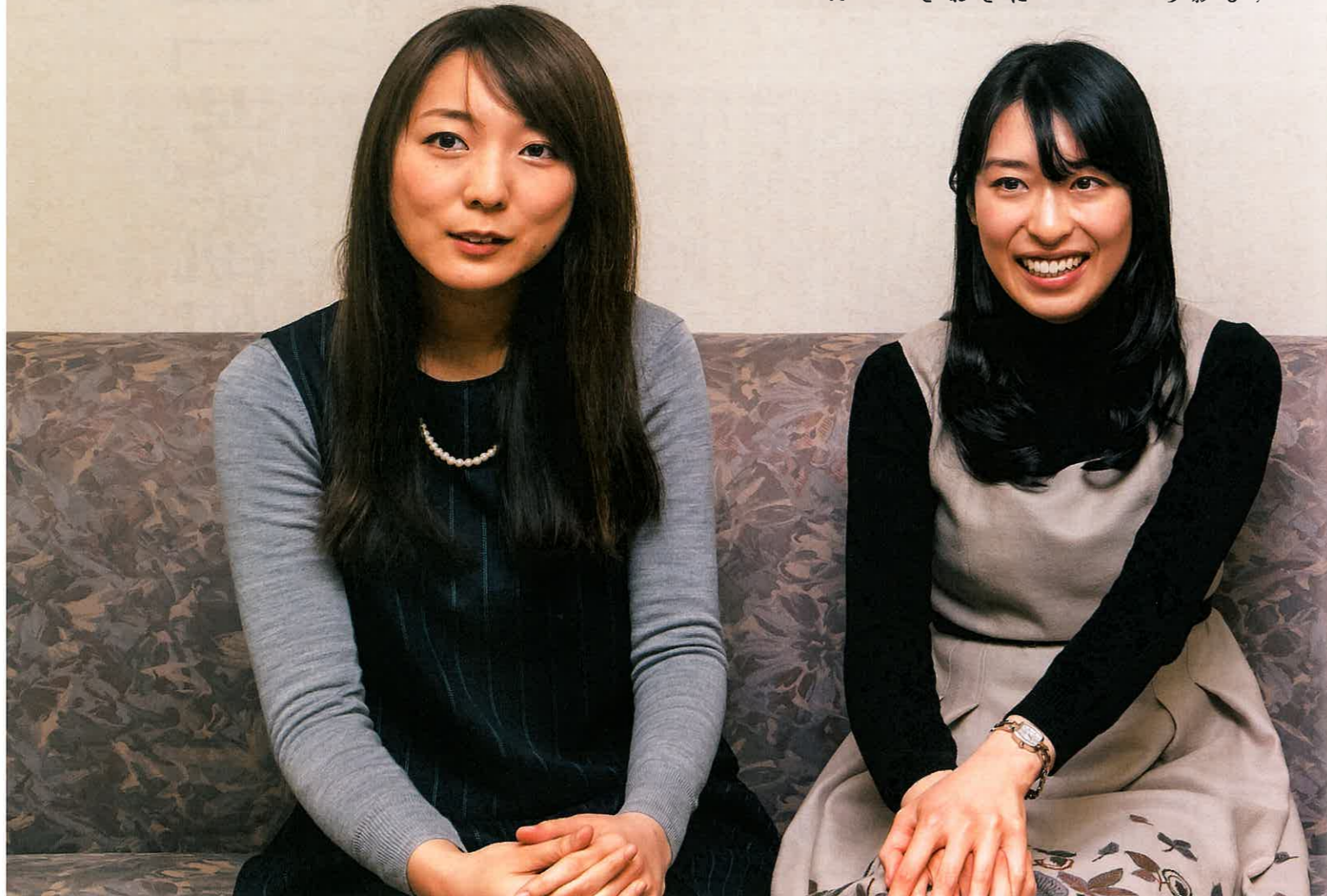
ビートルズ  
初代ディレクター  
高嶋 弘之氏による  
プレトーク  
当日18:45頃から

ありがとうございました

取材文/大江貴史

最後に読者の皆様にもメッセージを

こんな私達の和気あいあいとした雰囲気音を音に乗せてお届けしますので、気軽に観に来て下さい。最近ではビートルズ世代ではない子どものお客さんもいます。ご家族揃って足を運んでくださると嬉しいですよ。





# 歌舞伎の魅力

# 「河内山」「藤娘」「芝翫奴」の面白さ

水落潔

今年のロゼシアターの歌舞伎公演は中村橋之助、坂東秀調、中村児太郎、中村国生、松本錦吾、大谷友右衛門らが出演して「河内山」と舞踊「藤娘」「芝翫奴」を上演する。

「河内山」は明治十四(1881)年に初演した河竹黙阿弥作「天衣紛上野初花(くもにまごううえのはつはな)」という七幕十六場の長編戯曲の中の序幕二場と三幕を独立させた狂言である。この戯曲は明治期に人気を集めた松林伯田の世話講談「天保六花撰」を素材に、江戸末期の六人の悪党を平安時代の歌詠み「六歌仙」に擬えて描いた作品である。河内山はその頭分で名を宗俊といい、江戸城で大名た



「河内山新狂言松江候屋詰之場」(国立国会図書館のデジタル化資料より)

ちの世話をする数寄屋坊主であった。身分は低いが直参(將軍直属の家臣)で若年寄の支配下にあった。序幕の「上州屋」は河内山が桑の木刀を質草に五十両を借りようとする場面から始まる。無理な相談なので番頭が断ると、河内山は女主人の後家と掛け合うという。そこへ奥から後家おまきが現れて、娘のお藤(浪路)が奉公先の松江侯の横恋慕で死の危機に立ち回って親類が集まって相談中だと語る。この場の河内山は直参を笠に着た悪の凶太さを見せる役柄である。後家の話を聞いた河内山は持前の俠気と金欲しさからお藤の救出を請け負うことになる。懸念する番頭に向かって「ど

うせヒジキに油揚げ」と嘲笑する姿や、請負い代は二百両と吹っかけるところに、河内山の庶民を見下した傲慢な人柄が見える。請け負ったもの策があるわけではない。思案しながら上州屋を出た後、妙案を思いつきボーンと手を打ち足早に引つ込むところが見せ場である。



「藤娘」(国立国会図書館のデジタル化資料より)

二幕目は「松江邸」。腰元浪路に執着する松江出雲守とそれを止める近習頭の宮崎数馬、殿を煽る敵役の北村大膳、諷刺するため現れた家老の高木小左衛門。緊迫した空気が漂うところへ突然上野の宮から使僧が来たことが告げられる。一同は何事かと驚くが、出雲守は「使者に会えば面倒じゃわえ」と奥に入ってしまう。出雲守は我儘放題の大名だが敵役ではなく、大名らしい品位が必要である。

現れたのは河内山。白の着付けに緋の衣、水晶の数珠を手に、序幕とは違って変った高僧の姿である。家来同が平伏して迎えるが河内山は松江侯が居ないのでそのまま帰院すると脅す。そこへ渋い表情で出雲守が出席してくる。ここから河内山が真綿で首を絞めるようにじわじわと出雲守を追い詰めていくのが見どころである。「まことに意外な」血色」と皮肉を飛ばす台詞に

始まり、浪路を戻すことを拒む松江侯に対して「僅か婦女子の事よりしてこの松江家の興廃にも関わる大事が出来なすが」と横恋慕を種に脅していく河内山の緩急を使った台詞が聞きものである。やむなく出雲守が承知し、河内山は出される膳には見向きもせず「相なるべくは山吹のお茶を二服」と露骨に金を要求する。人がいないのを確かめて中啓で目録台に触れた時、時計が鳴りハッとところで舞台が替る。「玄関先」は黙阿弥の名台詞が聞きものである。北村大膳に本性を暴かれた河内山が逆に居直り「悪に強きは善にも」とはじまる七五調の長台詞は、河内山の凶太さと俠気を示すところでも最大の見せ場である。大膳が首を打つと言うのに「河内山は直参だぜ」と逆襲する啖呵が小気味良い。最後に「馬鹿め」と大声で一喝して河内山は悠々と引き揚げていく。橋之助が初役

平成二十七年(公社)全国公立文化施設協会主催 中央コース 製作 松竹

# 松竹大歌舞伎

河竹黙阿弥 作  
天衣紛上野初花  
一、河内山  
二、藤娘  
三、芝翫奴

賀見世より玄関先まで  
長瀬雅子 演  
長瀬雅子 演

日時 平成二十七年七月二十八日(火)

昼の部 開場十三時 開演十三時三〇分  
夜の部 開場十七時三〇分 開演十八時

会場 ロゼシアター 中ホール  
入場料 (全席指定) ※未就学児入場不可  
一階席 七、〇〇〇円 二階席 六、〇〇〇円 学生 一、〇〇〇円  
チケット発売日  
四月九日(木) 十時(Web) 四月十日(金) 十時(窓口)

## 「映像とお話によるレクチャー講演」

歌舞伎への誘い  
黙阿弥物の魅力

講師/演劇評論家 水落潔 氏

平成二十七年五月十九日(火)  
開場十三時三〇分 開演十四時

ロゼシアター 中ホール  
入場無料 自由席(要整理券) ※未就学児入場不可  
※整理券配布(四月九日(木) 十時より(窓口配布のみ))



おたたとともえもん 大谷友右衛門



ばんどうしゅうりゅう 坂東秀調



まつもときんご 松本錦吾



なかむらくにお 中村国生



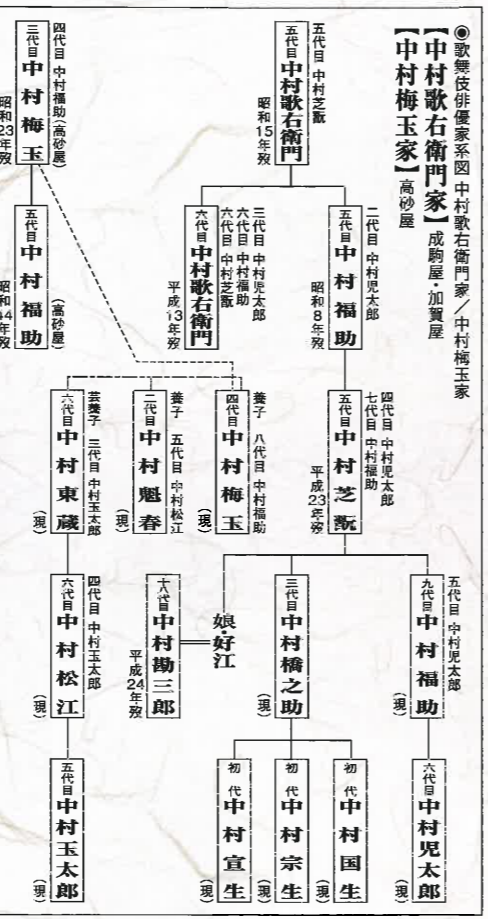
なかむらうこたろう 中村児太郎



なかむらのはしのすけ 中村橋之助

河内山を演じ、友右衛門の松江侯以下二座総出演の舞台である。続いて舞踊二題で最初は「藤娘」。文政九(1826)年に初演された五変化舞踊の一場面で、初演は大津絵の題材が次々に絵から抜け出て踊るという趣向になっていた。背景も琵琶湖でタドキの後に端唄の「潮来」を入れていた。それを昭和十二年に六代目第五郎が新演出で上演し、以後そのやり方が伝わっている。新演出の特徴は娘を藤の精にして「潮来」の代わりに岡鬼太郎作詞の「藤音頭」にしたことで、背景も松の大木に絡んだ藤の花房に変えた。真つ暗な中、置き唄が終わるとパツと舞台が明るくなり塗笠に踊る枝を担いだ娘が立っている。娘はひと踊りすると松の木陰で笠を取り、近江八景を読み込んだ歌詞でタドキを踊る。さらに黒襟付の衣装に変え観客に挨拶してから藤音頭を踊る。ほろ酔いの娘の可愛らしさを見せる振りである。最後は踊り地から藤の枝を担いで極まる。児太郎が踊る。

「芝翫奴」は文政十二(1828)年に四代目歌右衛門(俳名芝翫)が初演した舞踊で「供奴」の題名で上演することもある。吉原通いの主人に遅れた奴が、主人を探しながら伊達で寛濶な主人を自慢して、その真似をして見せるという舞踊で、奴らしい勢いの良い動きと腰を落とした姿の美しさが見もので、足拍子に乗った軽妙な踊りが見どころになっている。国生が家の芸ともいえる難しい踊りに挑戦する。



## 「水落潔プロフィール」

演劇評論家  
一九三六年大阪生まれ。九六〇年早稲田大学第一文学部演劇科卒業。九六年毎日新聞社入社。九七〇年から学芸部演劇記者として同紙(東京)の劇評を担当。学芸部副部長、編集委員、特別委員を経て九九年退社。客員編集委員。二〇〇〇年に桜美林大学教授に就任。二〇〇七年退職。名誉教授。日本演劇協会、都民劇場の各理事。日本芸術文化振興会、セゾン文化財団の各評議員。富士市文化振興財団芸術委員。



「文楽」「上方歌舞伎」(芸術選奨文部大臣新人賞受賞)、「歌舞伎鑑賞辞典」、「平成歌舞伎俳優論」、「演劇散歩」、「幸四郎の見果てぬ夢」など。



# EVENT CALENDAR 2015

6 JUNE

6/11 木曜日

**チケット発売日** **ロゼ・アフタヌーンコンサート**  
**小林愛実ピアノリサイタル**  
 小ホール  
 公演日/9月24日(木)  
 開場/13:30 開演/14:00  
 入場料(全席指定・税込) 一般/3,000円 ※未就学児入場不可  
**【口】45686**

プログラム  
 ♪ショパン/ピアノ・ソナタ第2番変ロ短調 op.35  
 ♪ショパン/舟歌 嬰へ長調 op.60  
 ♪ショパン/ノクターン 第7番 嬰ハ短調 op.27-1  
 ♪ショパン/英雄ポロネーズ 他  
 ※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。



(C)Warner\_Music\_Japan

6/12 金曜日

web

6/29 月曜日

**ふじ少年少女芸術劇場 中学生招待コンサート**  
 演奏:新日本フィルハーモニー交響楽団  
 大ホール  
 午前の部 開場/9:15 開演/10:00  
 午後の部 開場/12:45 開演/13:30  
 ●入場料(全席指定・税込) 均一/500円  
 ※未就学児入場不可  
**チケット発売日**  
 Web/5月14日(木)  
 窓口/5月15日(金)



6/30 火曜日

**1966カルテット ザ・ビートルズ クラシックス**  
 小ホール  
 開場/18:30 開演/19:00  
 ●入場料(全席指定・税込) 一般/3,500円 学生/1,000円  
 ※未就学児入場不可  
**チケット発売日** Web/4月16日(木) 窓口/4月17日(金) **【口】45684**

プログラム  
 ♪ヘルプ  
 ♪イエスタデイ  
 ♪ノルウェーの森  
 ♪ヘイ・ジュード  
 ♪アビー・ロード/ソナタ 他

※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。



※ロゼシアター主催公演のチケット購入方法については14ページをご覧ください。  
 ※表示価格は全て消費税が含まれております。

5 MAY

5/14 木曜日

**チケット発売日** **ふじ少年少女 芸術劇場 小学生招待コンサート**  
 演奏:静岡交響楽団  
 大ホール  
 公演日/7月3日(金)  
 午前の部 開場/9:15 開演/10:00  
 午後の部 開場/13:15 開演/14:00  
 入場料(全席指定・税込) 均一/500円  
 ※未就学児入場不可



5/15 金曜日

**「おかあさんといっしょ」ポコポッコイットがやってきた!**  
 出演:ムテ吉、ミーニャ、メーコブ、坂田おさむ、つのだりょうこ

大ホール  
 1回目 開場/10:30 開演/11:00  
 2回目 開場/13:30 開演/14:00  
 ●入場料(全席指定・税込) 均一/2,500円  
 ※1歳以上チケット必要  
**チケット発売日** Web/3月18日(水) 窓口/3月19日(木)  
**【口】45682**



5/19 火曜日

**歌舞伎への誘い**  
 講師:水落潔

中ホール 開場/13:30 開演/14:00  
 ●入場無料(要整理券)整理券は4月9日(木)10:00から配布開始  
 ※未就学児入場不可



5/20 水曜日

**May J. Spring Tour 2015**  
 ~ReBirthday~

大ホール 開場/17:30 開演/18:30  
 ●入場料(全席指定・税込) 均一/6,000円(当日6,500円)  
 ※3歳以上有料(2歳以下入場不可)  
**チケット発売日** Web/3月25日(水) 窓口/3月26日(木)  
**【口】45683**

5/21 木曜日

**ロゼこどもコンサート**  
 協力:富士クラシック協会

中ホール  
 公演日/8月7日(金)  
 1回目(0歳から入場可)  
 開場/10:30 開演/11:00  
 2回目(3歳から入場可)  
 開場/13:30 開演/14:00  
 入場料(全席指定・税込) 均一/500円  
 ※3歳以上有料



昨年の公演より

5/28 木曜日

**ふじ寄席**  
**柳家三三さんの親子で楽しむ落語会**  
 出演:柳家三三(落語)、林家二楽(紙切)

中ホール  
 公演日/8月16日(日)  
 開場/10:30 開演/11:00  
 入場料(全席指定・税込)  
 一般/1,000円 中学生以下/500円  
 ※4歳以上入場可  
**【口】45687**



5/29 金曜日

**柳家三三と真打落語家による落語会**  
 出演:柳家三三、林家二楽、真打落語家(予定)

中ホール  
 公演日/8月16日(日)  
 開場/13:30 開演/14:00  
 入場料(全席指定・税込)  
 1階席/4,000円  
 2階席/3,500円  
 学生/1,000円  
 ※未就学児入場不可  
**【口】45688**



4 APRIL

4/9 木曜日

**チケット発売日** **松竹大歌舞伎**  
 演目:一、天衣紛上野初花「河内山」  
 二、「藤娘」「芝翫奴」  
 中ホール  
 公演日/7月28日(火)  
 昼の部 開場/13:00 開演/13:30  
 夜の部 開場/17:30 開演/18:00  
 入場料(全席指定・税込)  
 1階席/7,000円 2階席/8,000円  
 学生/1,000円  
 ※未就学児入場不可  
**【口】45685**



大谷友右衛門 坂東秀満 松本錦吾 中村国生 中村兎太郎 中村横之助

4/18 土曜日

**ロゼこどもスプリングコンサート**  
 協力:アンサンブルローズ  
 企画・音楽監督:茅原初子

中ホール  
 開場/13:30 開演/14:00  
 入場料(全席指定・税込) 均一/500円  
 ※3歳以上有料。2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞無料。  
**チケット発売日**

プログラム  
 ♪アナと雪の女王  
 ♪小犬のワルツ  
 ♪お話しと音楽「ブレーメンの音楽隊」  
 ♪歌のお姉さんコーナー  
 ♪ようかい体操  
 ※出演者・曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。



4/22 水曜日

**佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団**  
 創立10周年記念公演

指揮:佐渡裕  
 管弦楽:兵庫芸術文化センター管弦楽団  
 ピアノ:エフゲニ・ボジャノフ  
 大ホール  
 開場/18:30 開演/19:00  
 入場料(全席指定・税込) S席/8,000円 A席/6,000円 学生/3,000円  
 ※未就学児入場不可  
**チケット発売中【口】43619**



プログラム  
 ♪ウェーバー/「舞踏への勧誘」op.65 J.260  
 ♪ショパン/ピアノ協奏曲第2番 へ長調 op.21  
 ♪ブラームス/交響曲 第2番 二長調 op.73  
 ※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。





# 素顔の大作作曲家たち

## 第8回 ピアノの詩人 ショパン(前編) 知られざる天才の肖像

「ショパンはもともと偉大だ。ピアノというたった二台の楽器にすべてを見いだしたのだから」。これは、フランスの作曲家ドビュッシーのことです。ピアノの詩人として、あまりにも有名なショパン。「鍵盤の貴公子」「ピアノのラファエロ」など、賛辞のニックネームもじつに多彩です。その精細で優美なピアノの調べは、没後二六〇年を経たいまもなお、人々を魅了し続けています。現在、世界中で開催されるピアノリサイタルの半数以上は、プログラムにショパンの作品が含まれているといわれるほど。なぜ、ショパンはこれほど愛されているのでしょうか。その魅力の影には、じつはあまり知られていない秘密もあるのです。今回から二回にわたって、ショパンの知られざる魅力を探ってみましょう。

### 「ショパンが、もし「チョコピン」だったら？」

#### 「ショパン魅力の秘密」

日本人は、本当にショパン好きな国民ですが、彼のどこに日本人の琴線にふれる魅力があるのでしょうか。少し分析してみましょう。まず、甘いマスク。繊細な指先と、肺病を患う病弱でスレンダーな体型。加えて、ピアノという魅力的な楽器の名手。それから、本当に自分の芸術を理解してくれる貴族のサロンでしか演奏しない、という誇り高き貴族性。これらのイメージは、まるで少女漫画の男性主人公そのものです。そして、意外に見落とされがちなのは、フランス人の父系から受け継いだ「ショパン」というエレガントな姓。日本では原語での発音が重視されるので「ショパン」と発音されますが、これが、もし英語圏で発音されるように「チョコピン」だったとしたら？ はたして日本でこれだけの人気を得られたかは微妙です。



(写真:1) ショパンの肖像(ドラクワ筆)

でも、ショパンがここまで愛される最大の理由は、類い稀な才能の豊かさ、作品のすばらしさにあることはいまでもありません。西洋音楽史のなかでも、ショパンはまさに第一級の天才でした。唯一のピアノの師匠ジュニーは、幼きショパンの天分を見抜いた優れた教師でしたが、ピアノの専門家ではありませんでした。つまり、ショパンは、少年時代から周囲を驚嘆させたピアノのテクニクを、たったひとり、しかも驚くほど短期間で習得したのです。あまり知られていない幼き日のエピソードに、次のようなものがあります。本格的に音楽理論の勉強を始

### 「諸君、天才だ！」

#### 「ショパン天才の証明」

じめて学ぶというよりも、忘れていた知識を思い出したという感じだったそうです。これには周りの大人たちもびびり仰天！ 中には「諸君、帽子を脱ぎ給え、天才だ！」というドイツの作曲家シューマンの言葉がありますが、彼は、ショパンの天才を音楽史上最高の神童といわれたモーツァルトにも匹敵すると考えていました。次の言葉は、先の名言以上に、シューマンによる最大級の賛辞といえるかもしれません。「われわれは、異なる道の究極において、ショパンのなかに再びモーツァルトに出会うのだ」。



(写真:2) ショパンの生家花で飾られた奥の小部屋でショパンは生まれた。

### 孤独な天才。知られざる壮絶な創作現場とは？

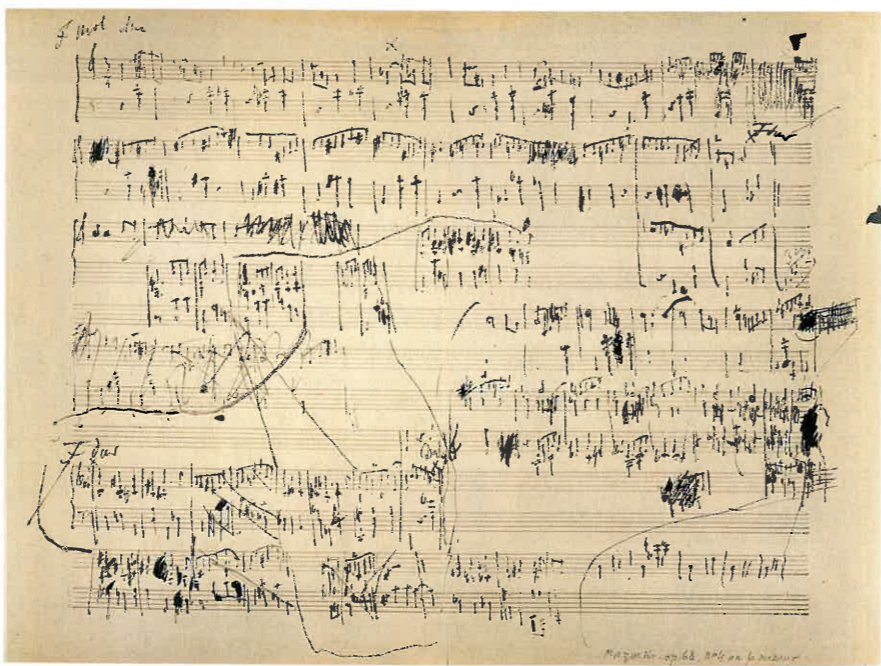
ショパンは、どのようにして名曲の数々を作曲したのでしょうか。その音楽に魅せられた誰もが、創作の秘密を知りたいと思うはず。ところが、ショパン自身は、自分の音楽や作曲についてほとんど語っていません。でも、じつは、十年間にわたって、ショパンの傍らで彼の作曲現場を目撃していた、恋人で小説家のジュール・ジュザンドが、次のような興味深い証言を残しているのです。



(写真:3) 父への誕生カード  
わずか6歳のショパンが絵柄まですべてひとりで描いた。



(写真:4) ショパンの金時計  
10歳のショパンの演奏に感激した大歌手カタリーニから贈られた金時計。



(写真:5) ショパンの自筆譜 何度も書き直された筆の跡が生々しい。

#### ●プロフィール

#### 浦久俊彦

作家、音楽プロデューサー。1961年生まれ。パリで音楽学、歴史社会学、哲学を学ぶ。フランスを拠点に作曲、音楽研究活動を行う。帰国後、「ショパン鍵盤のミステリー」「ベートーヴェン鍵盤の宇宙」など多彩なプロジェクトの企画・制作を担当。三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。著書に『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』(新潮社)がある。

「ショパンの音楽の創造は、自然に湧き上がってくるもので、奇跡とも呼べるものでした。探し求めることも、予め準備することもなく、彼は音楽を見出したのです。音楽は、彼のピアノの上に突然に完全に崇高にやってくるか、または散歩の途中、彼の頭の中で突然に歌いだすのでした。そして、彼は急いでその音楽をピアノで弾いて、自分自身に聴かせるのでした。しかしそれから、私がかつて見たこともないような、この上なく痛ましい苦悶が始まるのです。心に聴いた音楽の細部を再び捉えようとする焦りと苦悶で、彼は終日自分の部屋に閉じこもり、歩き回り、泣き、絶望し、ペンを折り、一小節を百回も繰り返し消しては書き、何日も辛抱強く細心の注意を払って楽譜に取り組み、そして一ページ書くのに六週間も費やしたあげく、結局最初に書き下ろした通りのものを書くのです」

さすがに小説家の描写らしく、ショパンの創作の苦悶が生々しく伝わってきます。やはり、天才の仕事というものは、凡人には計り知れないものですね。次回は、もうひとりの天才、鍵盤の魔術師リストが登場します。ショパンの生涯最大のライバルで、よき友でもあったフランツ・リストとの物語です。どうぞご期待下さい。

浦久俊彦

参考文献  
J.Karłowicz. Souvenirs Inédits de Chopin (Supplément à La Revue Musicale, 1904)  
George Sand. Histoire de ma vie, Edition Stock, 1945  
Tadeusz A. Zieliński. Frédéric Chopin, Edition Fayard, 1995





# おでかけクラシック

ロゼシアターではオーケストラやリサイタルなどのクラシックコンサートのほか、0歳児からでも鑑賞できる春・夏2回の「こどもコンサート」、小中学生を対象とした「招待コンサート」と様々な年齢層にクラシック音楽を届けてまいりました。そして今回、ロゼシアターになかなか足を運ぶことが出来ない方にも生のクラシック音楽を届けたいという想いから、新たな出張企画「おでかけクラシック」を開催いたしました。

## 公演情報

平成26年12月3日(水)

開演10:15 富士市立養護老人ホーム駿河荘  
開演14:00 特別養護老人ホームみぎわ園

## 出演者



川島 祐子  
フルート



齋藤 充子  
ハープ

## プログラム

1. アヴェ・マリア/パッハ=グノー
2. 「歌の翼に」による幻想曲/シュテックメスト
3. 白鳥/サン=サーンス
4. エーデルワイス/ロジャース&ハマースタイン
5. 踊りあかそう/フレデリック・ロウ
6. 日本の四季メロデー  
～花・夏の思い出・小さい秋見つけた・雪～
7. 七つの子/本居長世
8. ここに幸あり/飯田三郎
9. ☆みんなで歌いましょう☆
10. ふじの山 文部省歌唱
11. ふるさと 岡野貞一

富士市出身。東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。第4回MAYコンサート出演。フルートを茅原初子、金昌国、小泉剛、酒井秀明、北村薫の各氏に師事。これまでに富士フィルハーモニー管弦楽団、富士宮室内オーケストラ、静岡交響楽団、チェコフィル六重奏団、ザルツブルガー・プリステンなどと共演。現在、県立富士宮東高校芸術コース非常勤講師、静岡県演奏家協会、富士クラシック協会会員。

初の「おでかけクラシック」となる今回は、富士市立養護老人ホーム駿河荘と特別養護老人ホームみぎわ園に向いて、公演を行いました。出演者には、「第4回MAYコンサート」の卒業生でもあるフルートの川島祐子さんと、ハープの齋藤充子さんのお二人にご出演して頂きました。フルートは度々見たり聴いたりしたことがあるかと思いますが、ハープはどうでしょうか。オーケストラで見かけますが、間近で見るとはなかなかないと思います。ハープは47本の弦から構成され、音を見分けるため弦の色が付いています。しかも足元には7本のペダルがあり、3段階にペダルを踏み分けることにより7オクターブの音域を出すことができると齋藤さんから解説して頂きました。

午前の公演は駿河荘に伺いました。畳を敷いたフロアに大きなステージ、畳の上でクラシックを座って聴ける贅沢な会場でした。この日のプログラムにはみんなが歌える曲を入れて欲しいとの要望から「ふじの山」と「ふるさと」を盛り込みました。みなさんフルートとハープの音色を楽しく聴き入って下さいました。

午後の公演はみぎわ園に伺いました。窓から綺麗な景色が見える会場をご用意して頂き公演を行いました。100名近くの方が聴きにきて下さり、知っている曲ではみなさんが歌い演奏者と一体感がある公演だったと思います。音楽は世界共通で年齢・性別に関係なく誰でも楽しめるものです。今回の公演のように、みなさんが楽しんで頂けるように今後も様々な施設へ出張してお届けします。



百年の伝統があり、多くの著名な芸術家を輩出する二科会。

昨年9月「第99回二科展」で、県東部地域において初めて「会員推挙」に選ばれた石倉妙子さん。

受賞について、また作品制作についてお話をうかがいました。

## 「会員推挙」選出の感想は

20代の頃から毎年出品して、このよ様な名誉ある会員推挙をいただき今までひとつひとつ積み上げてきたものが実を結んだという実感がわきました。形や色彩が自分の気持ちにぴったりと寄り添う瞬間の奇跡を信じてゆきたいと思います。

## 選出作品「つきぬものたちへ」について

人間がこの広い宇宙の中で生を受け、いろいろな出来事があり、やがて死を迎える。人間の人生のようなものをテーマにしてみました。悲しみの中で少しでも前を向いて自分らしく歩いて行こうという未来と希望を託して表現しました。

## 選出作品も大作ですが、完成までには時間も労力もかかりますね

構想から入れると月単位、年単位になる場合もあります。前の作品を思いながら次の作品を描いたり、心の中で葛藤します。自ら問いかけ無我夢中で掘り下げ絵の具を塗り重ねます。これだというものをつかんだ時はまるで暗いトンネルを抜けて光が差し込むような感じ。イメージが固まると筆を止めて、

もう楽しくて気持ちがあわくわくします。あとはイメージの到達点へ進むだけです。その繰り返しが次の作品につながるっていくんです。



公益社団法人  
二科会 会員

# 石倉 妙子

## 絵画教室を主宰されていますが、どのようにご指導されていますか

絵というのは年齢に関係なく描いて楽しいという時間がすごければいいと思います。絵を描くということは、物を観察すること。例えばベットの猫を描くのか、目はキラキラしている、触つてみたらフワフワして温かいな、というような感覚です。感性を育てていけたらいいですね。そこから動物に対してかわいさと思え、しだいに愛情がわいてきます。リングを描くとしても、おもしろいかなと思つてその後食べてみる、あーこんなに甘いんだ、と実感することがあります。こういう喜びが次の観察につながる。このような探究心を大切にしたいですね。

## 今後の予定は

現在、帝国ホテルでの二科サロンに作品を出品しています。四月からの春季二科展に向けて新作を出品するので、今まさに心の中で葛藤しています。

古い町並の佇まい、野の草木が日々移り変わっていく姿、見わたすすべてが絵画に繋がってしまうとのこと。誠実に制作に取り組み姿勢が印象的です。今後のご活躍を期待しています。



つきぬものたちへ2 F100号 油彩



つきぬものたちへ1 S80号 油彩



公益社団法人 二科会 会員  
二科静岡支部 副支部長

石倉 妙子

第76回二科展で「特選」に輝き、その後、第79回で「会友推挙」、第89回で「会友賞」に選出。県二科賞など多数受賞。その他「富嶽ビエンナーレ展」など多数入賞。2015.1.13～4.7 帝国ホテルインベリアルタワー・ギャラリー(二科サロン)受賞者小品展 現在出品中。4.17～4.23春季二科展 東京都美術館 出品予定。富士市在住。



## ロゼシアター主催公演のチケット購入方法

### ●ロゼシアターのホームページまたはモバイルサイトからご予約いただけます。

ホームページからのご予約は、お座席選択が可能です。  
モバイルサイトからのご予約は、お座席は選択できません。  
ホームページ <http://rose-theatre.jp>  
モバイルサイト [http://rose-theatre.jp/mobile/top\\_mo.htm](http://rose-theatre.jp/mobile/top_mo.htm)



代金のお支払いとチケットのお引取りについて  
代金のお支払いは、2種類あります。お引取り方法は、選択されたお支払い方法によって異なります。

- ◆クレジットカードお支払い: 窓口またはセブン・イレブン店頭にてお引取り
- ◆セブン・イレブンお支払い: セブン・イレブン店頭にてお引取り

### ●ロゼシアターで直接購入

(チケット取扱時間: 休館日以外の9時~20時。ただし発売初日は10時~20時)  
会館1階エレベーター横の会館事務所に、現金でご購入。

### ●プレイガイドで購入

ロゼンチケット TEL.0570-084-004 (各公演指定のLコードが必要です。)  
※お電話でのご購入はこちらをご利用下さい。

## ロゼフレンドシップのご案内

ロゼシアター主催公演のチケットをご購入・ご予約の際は「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です。

ロゼシアターのホームページや、窓口から登録いただけます。事前に登録していただきますと、購入手続きがスムーズに行えます。ご理解とご協力の程お願いいたします。

### ●重要なお知らせ

ロゼシアター主催公演のチケット販売につきまして、お客様にインターネット販売をより安全にご利用いただくため、新しくフレンドシップ登録をする場合、登録IDはお客様自身で決めていただきます。お手数をおかけしますが安全性向上の為の対応となりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先 TEL.0545-60-2500

※お問合せは9時~22時となります。

### プレゼントクイズ

平成27年6月30日  
「1966カルテット」  
「1966」は、「○○○○○」が来日した年に由来しています。

プレゼント1 1966カルテット  
平成27年6月30日 開演19:00  
公演チケット 2組4名様

プレゼント2 レストラン「ROSE TERRACE」  
御招待券 1組2名様分(4,000円相当)

【応募方法】官製はがき 私製はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、クイズの答え、希望するプレゼント名、本誌に対するご意見・ご感想をご記入のうえ、郵送にてお申し込みください。(平成27年6月10日消印有効)  
なお、当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。

<郵送先> 〒416-0953 富士市琴原町1750番地  
ロゼシアター「情報誌ロゼ第90号」プレゼント係

※応募は一人様一通までとさせていただきます。  
二通以上ご応募の場合は、全て無効とさせていただきます。

## レストラン「ROSE TERRACE (ロゼテラス)」

世界文化遺産富士山を望みながら、落ち着いた雰囲気の内でお食事をお楽しみいただけます。  
静岡県産を中心とした素材選びから真摯にこだわった料理をお出しして、皆様のご来店を心よりお待ちしております。



- ランチ 11:30~14:30
  - カフェタイム 14:30~17:00
  - ディナー 17:00~21:00 (L.O. 20:30)
- ※予約等により、営業時間が前後する場合がございます。



◆月替わり旬の小籠籠 1,500円(税別)  
お刺身から煮物、焼き物、揚げ物、洋食まで入ったお勧めランチです。  
(白飯、香の物 付)

- ◆メインが選べるロゼTERRACEランチ(全8種類)  
(全てに副菜2品、白飯、香の物、本日の汁もの 付)  
(メイン料理抜粋)  
・太刀魚と根菜の煮付け.....900円(税別)  
・若鶏の唐揚げと野菜の黒酢あん.....990円(税別)  
・厚切り牛タンと赤ワイン味噌煮込み.....990円(税別)
- ◆富士「幸寿豚」密込みハンバーグ(全2種類)  
(全てに副菜、サラダ、白飯、本日の汁もの 付)  
・デミグラスソース煮込み.....980円(税別)  
・黒カレーソース煮込み.....980円(税別)
- ◆天然南鮪(全てに副菜2品、香の物、本日の汁もの 付)  
・天然南鮪のづけ丼.....980円(税別)  
・天然南鮪、桜えび、しらす「駿河丼」.....980円(税別)

ディナーにつきましても豊富な品揃えとなっております。詳細につきましては、こちらをご覧ください。<http://www.nasubi-td.co.jp/rose/>

## 編集後記

1966カルテットさんの取材に行ってきました。映像でみる彼女たちの姿とは打って変り、素の一面を垣間見たような気がしました。ヴァイオリンの花井悠希さんですが、取材の際に「歩くぐるナビ」とメンバーから言われるくらいグルメ好きの

ようです。行く先々の美味しい店リストをいくつか自分で調べ、持ち歩いているみたいです。ロゼに来て下さった際には、どこのお店をピックアップしたのか是非見せて頂きたいですね。(R)

## ロゼシアター休館日のお知らせ

- 4月20日(月)
- 5月18日(月)
- 6月22日(月)

ロゼシアターホームページで情報を!! <http://rose-theatre.jp> ◆公演情報 ◆施設の空き状況 ◆交通情報など



# Flash Back

2014年11月▶2015年1月

ロゼシアター主催事業をお客様のアンケートをもとにフラッシュバックしてみました。

## ロゼアフタヌーンコンサート 篠崎史紀 ヴァイオリン・リサイタル

11月11日(火) 小ホール

- ヴァイオリンとピアノのかけ合いが素晴らしいかったです。トークもいつもながら面白く楽しかったです。 40歳代・女性
- 「まる」さんの解説付きが大変良かったです。音楽は感性!!ということが良かったです。 60歳代・男性
- 素晴らしいヴァイオリンの演奏に秋の訪れを感じる一方、ベートーヴェンの明るい春を奏でて頂くと感動いたしました。 70歳以上・女性
- 解説が見事で、曲の情景を感じる事が出来て楽しい一時でした。 70歳以上・女性



## 嘉門達夫 SUPER LIVE

11月24日(月) 中ホール

- ずっと笑ってました。楽しかったー! 40歳代・女性
- 20年前にも嘉門さんのライブを見て今日も本当に懐かしかったです。 40歳代・女性
- 「さくらさく」いい曲ですね。明るい未来、懐かしい子供の頃を思い出しました。 50歳代・女性
- おじさんのシャレ、おしゃレでステキでした。 60歳代・女性



## おでかけクラシック

12月3日(水) 駿河荘・みぎわ園

THE STAGESIDE STORY (P.11)

## 秋元康プロデュース 由紀さおり 45周年記念コンサートツアー 「偶然の結晶~45年の歌声~」

12月4日(木) 大ホール

- ものすごい量の歌詞を間違えずに覚えていたのも、すごいと思いました。よく歌い込まれているんですね。45周年の歴史の厚みを感じ感動しました。 30歳代・女性
- 安田祥子さんの歌も聞いて2倍良かったです。さおりさん自身のヒット曲、たくさん聞けてうれしかったです。 50歳代・女性
- 昭和の時代のいい歌を聞いて嬉しかったです。歌が上手な人に懐かしい歌をうたってもらってうれしかったです。 50歳代・女性



## ロゼ富士山こども将棋大会2015

1月12日(月) 展示室・和室

- 準備勝戦から4階にあがっての対局とはヤル気をかりたてられますよね。
- 近くに将棋をやる子が居ないので、よい機会です。
- 十分ざしをはじめてできて、とても勉強になった。
- プロ棋士とも対戦できて楽しかった。



## 新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤーコンサート2015

1月14日(水) 大ホール

- こういう楽器の演奏会に来たことがなかったけれど、とても楽しかったです。小学生・女の子
- 新世界は皆さん楽しそうに演奏していて、聴いて楽しかったです。 20歳代・女性
- 千住真理子さんのヴァイオリン素晴らしい。ロゼの音響効果も抜群です。又来館させて下さい。 60歳代・男性
- 曲目も演奏も素晴らしいです。 70歳以上・女性



## プリマ・ヴィスタ弦楽四重奏団 ~地元演奏家との華やかな共演~

1月16日(金) 小ホール

- 心の底から洗われるような澄んだ音色に耳を傾けられる幸せな時間を有難うございました!!今日はお腹の中の子も一緒に聴いて、よく動いていました30歳代・女性
- オーケストラの大編成と比べると人数が少ない分、各楽器の音を聞き分ける事ができ、すごくいい時間を過ごすことが出来ました。 30歳代・男性
- 四重奏とピアノが流れる様に息が合い、とても素敵でした。 50歳代・女性

